



## 学校設定教科「クローバータイム」とは？

校長 古川 晶大

学校長2年目になりました古川晶大と申します。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

さて、令和8年度は、3年生43名、2年生48名に52名の新入生を迎え、全生徒数143名でスタートしました。本校は昨年度、生徒心得の見直しや職業コースの縦割り学習を導入、学校行事を生徒が創り上げる取組を行うなど、生徒主体の「新たな学び」が始まりました。その結果、生徒たちの主体性や協働性、コミュニケーション能力の向上が図られました。しかし、一方で生徒が自分自身取組を教員や仲間と対話を通してふり返り、次の目標をじっくり考える時間が少ないという課題も浮き彫りになりました。そこで、4月13日の全体保護者会でもご説明しました通り、今年度、学校設定教科の「クローバータイム」を新設することにいたしました。

「クローバータイム」の目的は、生徒が卒業後、変化の激しい社会の中で自分らしく生きていくために、自分自身や周囲と向き合いながら、目標設定や振り返りを行い、責任ある行動がとれるようにすることです。そのために「クローバータイム」では、身につけたい力として、「自分をみつめる力」「未来をえがく力」「支え合う力」の3つを大切にしています。その3つの力を育てていくには、他者と「認め合える人間関係」や「安心して『対話』ができる環境」など、豊かな土壌が必要不可欠です。それらの力を育むための土壌を豊かにするには、相手とのより良い信頼関係を築くことが重要です。そして、そのより良い人間関係を築くには、相手との「信頼の貯金」を増やしていく必要があります。「信頼の貯金」については、始業式で2、3年生に次のようにお話ししました。



職業の時間で、困っている時や仕事が重なって大変だなあと不安に感じている時に「どうしたの？何か困っていることあるの？」とか、「何か手伝えることある？」など、仲間や先輩に優しく声をかけられると、気持ちが楽になると思います。そのような相手へちょっとした気遣いの言葉によってその人との信頼関係が深まっていきます。まさにそれが「信頼の貯金」です。このように、お互いが相手への気遣い、思いやりの言動を続けていくことで「信頼の貯金」がどんどん増えていきます。「信頼の貯金」がたくさんある状態ならば、安心して何でも言い合える人間関係を作ることができ、失敗してもどうすれば同じ失敗をしないか一緒に考え、また挑戦することもできます。

本校では今年度、生徒も教職員も、一人ひとりが様々な人との対話を通して、この「信頼の貯金」を増やしていくことで学校全体の心理的安全性（安心して意見を言える雰囲気）を高め、生徒たちが安心してチャレンジできる環境を作り、将来の自己実現につなげていきたいと考えております。そのためには、保護者、地域・関係機関の皆様との「信頼の貯金」や「対話」も重視してまいります。

今年度1年間、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 1 学年

二つ橋での学校生活が本格的にスタートしました。授業に遅れないよう長い廊下を駆け抜けていく皆さんの表情からは、心地よい緊張感と期待感が溢れています。新しい教科や縦割り職業、委員会活動や部活動など、「新しいこと」だらけで慣れるまでに時間がかかると思います。焦らず、無理せず、ゆっくり慣れていきましょう。保護者の皆様には、多感な時期のお子様これまで以上に細やかなサポートが必要な時とそっと背中を押して温かく見守っていただく時と両方あるかと思えます。お子様が「明日も二つ橋に行って頑張ろう！」と心から思えるよう、学校もご家庭と共に全力で支援したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 学年

新入生を迎え、2年生としての学校生活が始まりました。後輩を前にして緊張しながらも、「先輩」となった自覚をもち、職業の時間ではあいさつを教えたり、活動の準備を進んで行ったりと、張り切って取り組む姿が見られます。人との関わりの中で、責任感や思いやりを育てています。

来月には修学旅行を控えています。事前学習では、二日目の班行動の行程を班ごとに話し合いながら決めていきます。また、公共の場でのマナーや集団行動の約束についても自分たちで考え、全員が安心して楽しめる修学旅行になるよう準備を進めています。

また、修学旅行から帰ってくると、すぐに実習が始まります。初めての实習で緊張もあると思いますが、実際に働く経験を通して、自分の得意なことや課題に気づく大切な機会になります。一人ひとりが自分の力を発揮できるよう、学校でもしっかりと支援してまいります。

ご家庭におかれましても、生活リズムの調整や体調管理など、日々のご支援をお願いいたします。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 3 学年

新たな1年が始まり、学習もスタートしました。職業の授業では後輩へのサポート役を担い、日々頑張る姿が随所で見られます。4月8日に行った学年集会では、私たち3学年教員が1年間大切にしていきたいこととして、以下の3点を生徒に伝えました。

- 1 一人ひとりと向き合う時間を大切にして、じっくり話をしていきます。
  - 2 一人ひとりを大切にする集団をつくっていきます
  - 3 社会で大切なルールやマナーと一緒に考えていきます
- 学生生活最後の1年となります。生徒一人ひとりが、楽しみ、充実した毎日を過ごすとともに、恐れずに自分で選び、実行し、振り返って、さらに進んでいけるように支援をしていきたいと思えます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。





## 保健室より

あたたかい春が来て、新年度が始まりました。保健室からも、新しい環境に胸をドキドキさせている二つ橋の生徒の皆さんの姿が見えます。クラスや先生、授業が変わり、嬉しいことも困ったこともあるかもしれません。心や体のことで聞きたいことや知りたいこと、わからないことなどありましたら、ぜひ保健室まで相談に来てみてください。

年度はじめは健康診断が実施されています。結果をお知らせしますので、自分の健康状態を見つめ直すきっかけにさせていただきたいと思えます。また、女子生徒の皆さんには「わたしのからだノート」をお渡ししました。自分の体調の変化やそのリズムを把握することは今後の生活のためにもとても大切です。ぜひ記録を習慣づけてほしいと思えます。

今年度の保健室は3人の養護教諭が在室しています。何かありましたら、ぜひ気軽にお声かけください。これからもどうぞよろしくお願ひします。



## セクシュアル・ハラスメント相談窓口

安心・安全な学校生活のために  
横浜市立二つ橋高等特別支援学校では、  
すべての生徒・保護者・教職員が安心して学び、働ける環境を守るため、  
セクシャルハラスメント（性的いやがらせ）に関する相談窓口を設けています。

セクシャルハラスメント相談窓口担当者  
養護教諭 森田 麻季  
コーディネーター 花房 忠臣  
副校長 市野 知子

# ☎ (045)-391-2131

なお、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。  
TEL: (045) 671-3726 月～金 9:00～17:00 (年末年始を除く平日)  
本校ホームページでも相談窓口について掲載しておりますので、併せてご参照ください。

「横浜市立二つ橋高等特別支援学校Webサイト」  
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/futatsubashikoto/>

